

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	苫小牧市アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業)
3 事業の目的	地域に存するアイヌ文化を発信し、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深めるとともに、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される地域社会の実現。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化伝承事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市生活館等</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和8年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ各種講習会を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努めるとともに、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。 ・アイヌ民族の生活において重要な役割を担っていた丸木舟を苫小牧市生活館敷地内の屋外に収納しているが、管理状況が劣悪なことからこれを整備し、来館者にもご覧いただけるようにすることで、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深める。 <p>○各種講習会参加予定人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺しゅう講習会…60人 (30人*2回) ・木彫講習会…15人 (15人*1回) ・料理講習会…15人 (15人*1回) ・伝統工芸講習会…30人 (30人*1回) ・ムックリ講習会…15人 (15人*1回) ・アイヌ語講習会…20人 (10人*2回) <p>②アイヌ文化魅力発信事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 nepia アイスアリーナ、苫小牧市内、道内各地</p> <p>○事業の実施期間</p>

	<p>交付決定の日～令和8年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 苫小牧市を本拠地とするアイスホッケーチームとアイヌ文化をコラボレーションさせ、道内外を問わず「アイヌ文化」及び「苫小牧のアイヌ文化」を知っていただく機会を創出することを目的とする。</p> <p>③ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 ニュージーランド ネーピア市</p> <p>○事業の実施期間 令和7年11月下旬頃</p> <p>○事業の内容と考え方 姉妹都市であるニュージーランドのネーピア市で開催する「姉妹都市締結45周年記念式典」において、アイヌ民族が歌や踊りを披露するほか、アイヌ文化の紹介や、送別会での懇談等により、現地の先住民族と文化の体験・交流を行う。</p> <p>(2)地域・産業振興事業 アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市美術博物館等</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和8年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 ・苫小牧市美術博物館常設展示室内及び各種教育普及事業等で活用するためのハンズオン資料(触れることが可能な複製資料)を製作し、アイヌ文化をより分かりやすく伝える。 ・苫小牧市美術博物館においてアイヌ歴史講座を開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。 ・苫小牧市美術博物館所蔵のアイヌの丸木舟に関する研究成果をまとめて公表し、アイヌの歴史や文化に対する市民理解を深める。</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ文化伝承事業</p> <p>・アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ各種講習会を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努めるとともに、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族の生活において重要な役割を担っていた丸木舟を苫小牧市生活館敷地内の屋外に収納しているが、管理状況が劣悪なことからこれを整備し、来館者にもご覧いただけるようにすることで、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深める。 ■アイヌ文化魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> 苫小牧市を本拠地とするアイスホッケーチームとアイヌ文化のコラボレーションとして、アイヌ文様を取り入れた限定ユニフォームを作製し、プロスポーツチームが着用する事で話題の喚起を図るとともに、多くの方々がアイヌ文化に触れる機会を創出し、アイヌの歴史や文化に対する理解を深める。 ■ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業 <ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市であるニュージーランドのネーピア市で開催する「姉妹都市締結 45周年記念式典」において、アイヌ民族が歌や踊りを披露するほか、アイヌ文化の紹介や、送別会での懇談等により、現地の先住民族と文化の体験・交流を行う。 ■人権啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> アイヌ民族の歴史、文化等について理解と認識を深めるとともに、アイヌ民族に対する偏見や差別を解消するため、本市で実施される人権パネル展においてアイヌ民族に関する人権パネルの展示を行う。 <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市美術博物館常設展示室内及び各種教育普及事業等で活用するためのハンズオン資料(触れることが可能な複製資料)を製作し、アイヌ文化をより分かりやすく伝える。 ・苫小牧市美術博物館においてアイヌ歴史講座を開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。 ・苫小牧市美術博物館所蔵のアイヌ資料の網羅的なデータベースを作成し、情報発信する。 ・常設展示の音声案内・多言語解説等を整備し、外国人観光客及び視聴覚障がい者などへの利用促進を図る。
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(1) 文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アイヌ文化伝承事業 <ul style="list-style-type: none"> 講習会への参加や丸木舟の屋外展示を通じて地域の人々がアイヌ文化を体験、体感することによって、アイヌ文化に対する市民の理解が深まり、アイヌ文化への関心を高める効果があると考えられる。 ■アイヌ文化魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> アイヌ文化及び苫小牧のアイヌ文化の持つ魅力を発信する各種イベントやア

	<p>イヌ文様入り限定ユニフォームを着用する冠試合への来場をきっかけに、その後のアイヌ文化への関心を高める効果があると考えられる。</p> <p>■ニュージーランドの先住民族等との文化体験・交流事業</p> <p>アイヌ民族が他の先住民族に自らの文化を伝え、他の先住民族がアイヌ民族の文化を体験し理解することで、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される社会の実現が図られ、多くのアイヌ民族や他の先住民族が当該事業に参加するほど効果が高まると考えられる。</p> <p>(2)観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>美術博物館のアイヌ関連展示室を整備し、地域のアイヌ文化等を従来よりも分かりやすい形で発信することで、本市への誘客促進につながり、美術博物館の入館者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1)文化振興事業</p> <p>ア 講習会参加者数</p> <p>(現状値)令和5年度 延べ122人/年間 (中間目標)令和9年度 延べ155人/年間 (最終目標)令和11年度 延べ155人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>イ 冠試合来場者数</p> <p>(現状値)実績値なし (最終目標)令和7年度 3,000人 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>ウ 文化体験・交流事業参加者数</p> <p>(現状値)令和6年度 0人 (最終目標)令和7年度 8人 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>美術博物館入館者数</p> <p>(現状値)令和5年度 延べ27,493人/年間 (中間目標)令和9年度 延べ31,000人/年間 (最終目標)令和11年度 延べ32,000人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p>
<p>(3)成果目標の</p>	<p>KPIである講習会参加者数、冠試合来場者数、文化体験・交流事業参加者数、</p>

確認方法	美術博物館入館者数について、実績値を公表する。また、行政評価システム等により目標の達成状況について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>苫小牧市には、昭和 51 年に苫小牧アイヌ協会（旧社団法人北海道ウタリ協会苫小牧支部）が設立され、その後、平成 2 年に生活館が開館し、苫小牧アイヌ協会をはじめとしたアイヌ関連団体等が生活館を拠点に、アイヌ文化の復興や伝承に向け、各種アイヌ講座や伝統儀式を開催するなど、日々アイヌ文化の発信を行っている。</p> <p>また、苫小牧市美術博物館において、北海道指定有形文化財であるアイヌ丸木舟をはじめとしたアイヌ関連資料の展示や、アイヌの文化や歴史を学ぶ講座を開催するなど、苫小牧市ではアイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、アイヌ文化に対する市民の関心は高まりつつある。</p> <p>一方で、苫小牧市には様々な要因により永続したコタンが残されなかったため、土着文化の継承がなく、また、アイヌ関連団体の高齢化などによるアイヌ文化の担い手不足により、次世代へのアイヌ文化の円滑な継承が課題となっている。</p> <p>民族共生象徴空間の開設に伴い、アイヌ文化に対する市民の関心はより一層高まることが予想されることから、市民がアイヌ文化に触れる機会をさらに増加させるとともに、今まで以上にアイヌ文化の普及啓発に努め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができる環境を整備する必要がある。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	苫小牧市生活館及び美術博物館は、苫小牧市が管理している。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	市内アイヌ関係団体と、定期的に意見交換を行っている。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	27,085,600	0	27,085,600	0
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	6,771,400	0	6,771,400	0
民間団体負担額	0	0	0	0
計	33,857,000	0	33,857,000	0

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	30,723,000	0	30,723,000	0
文化振興事業費	30,639,000	0	30,639,000	0
委託料	22,286,000	0	22,286,000	0
報償費	1,120,000	0	1,120,000	0
需用費	456,000	0	456,000	0
旅費	5,677,000	0	5,677,000	0
工事請負費	1,100,000	0	1,100,000	0
市町村事務費	84,000	0	84,000	0
需用費	30,000	0	30,000	0
旅費	54,000	0	54,000	0
地域・産業振興事業	3,134,000	0	3,134,000	0
地域・産業振興事業費	3,134,000	0	3,134,000	0
委託料	2,475,000	0	2,475,000	0
報償費	30,000	0	30,000	0
需用費	510,000	0	510,000	0
旅費	119,000	0	119,000	0
合 計	33,857,000	0	33,857,000	0
委託料	24,761,000	0	24,761,000	0
報償費	1,150,000	0	1,150,000	0
需用費	996,000	0	996,000	0
旅費	5,850,000	0	5,850,000	0
工事請負費	1,100,000	0	1,100,000	0